

# きららだより

平成29年

11月号

## 11月の予定

1	水	茶道・リズム
2	木	音楽・運動
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	園内探検(地域)
8	水	EE・リズム
9	木	音楽
10	金	YY
11	土	★保護者懇談会
12	日	
13	月	
14	火	きららっこ(地域)
15	水	EE・茶道・リズム
16	木	音楽・運動
17	金	☆10.11月生誕生会
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	リズム
23	木	勤労感謝の日
24	金	お弁当の日
25	土	
26	日	
27	月	YY
28	火	
29	水	EE・リズム
30	木	音楽・運動

## 12月の主な予定

16日(土) クリスマス会  
19日(火) きららっこクリスマス会  
23日(土) 天皇誕生日  
26日(火)～28日(木)  
年末年始特別保育  
28日(木) お弁当の日  
29日(金)～1月3日(水)  
年末・年始休暇  
その他避難訓練・身体測定

日が落ちる時間が早くなり、落ち葉も増え日に日に秋が深まってきました。早いもので今年も冬がすぐそこまでやってきたようです。

先日の運動会は、あいにくの天候で能見台小学校の体育館での開催となりましたが、子どもたちの見事な頑張り、そして保護者の皆様のご協力に支えられて無事に終えることができました。本番で力を発揮する子どもたちのやる気と対応能力の高さに驚かされます。慣れない会場でしたが、保護者の皆様が譲り合ってご観覧下さりありがとうございました。これからの子どもたちの成長もまた保護者の皆様と共に大切に支えていきたいと思えます。アンケートの提出もありがとうございました。職員の励みに、そして今後の参考にさせていただきます。クリスマス会後のアンケートの提出もまたよろしくお願い致します。

きらら保育園では今年度、赤い羽根募金の寄付金の分配を受けて、新たな園庭遊具の下に敷く安全マット(セーフティスペース)を購入する代金を一部補助頂けることになりました。今後も赤い羽根募金の機会がありましたらご協力を頂けると幸いです。

急に涼しくなり体調を崩しやすい気候になりましたのでご注意ください。インフルエンザも流行ってくる時期に差し掛かってきましたので、できるだけ早めの予防接種をお願いします。

## 保護者懇談会 11月11日(土)

普段の保育園の生活の様子をビデオ上映してご覧いただきます。

懇談会では、年齢ごとのクラスで行い、クラスの様子をお伝えするとともに、困っていること、心配なこと、気になることなど出し合って、意見交換ができる場にしたいと思います。ご参加をよろしくお願い致します。

## クリスマス会リハーサル及び写真撮影予定

11月30日(木) 第1回リハーサル

12月 5日(火) 第2回リハーサル

写真撮影 9:00～

12月12日(火) 第3回リハーサル

写真撮影 9:00～

写真撮影の日にお休みされると写りませんのでご了承ください。

同時に上記の日程でリハーサルをします、朝8:45までに登園して下さい。ご協力をお願い致します。

## 入退室時のカード忘れ及び土曜保育表の記入に関して

保育園に入室の際、カードキーのタッチ忘れが増えています。特に朝は、登園の確認をする大事なものとなりますので、押し忘れのないようお願いします。カードキーをお忘れの際は、事務所前の【カード忘れ記録簿】に必ず記入してください。

また、土曜保育をご利用申し込みの書き忘れが増えています。申し込みはその週の水曜日までです。職員及び給食の調整を行っていますので、木曜日以降の利用申し込みはお受けできない可能性がありますこと、予めご了承ください。尚、利用表は必ずフルネームで記入してください。

## ～能見台地区センターで行われた育児講演会へ行ってきました～

### スコーレ家庭教育講座【子どもの自己肯定感を育てよう！】より

講師：公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会  さん

「自分が好き！」「自分は大切な存在だ」と自信を持って、どんなハードルも乗り越えていける子になってほしい！親だからこそできることを考えてみたいと思います。

子どもは家庭で育ちます。家庭は心身共に心が安らぐところであるべきです。外で子どもは頑張っています。家に帰るとエネルギーが切れています。エネルギーを与えてあげられる家庭作りが必要です。子どもには成長していく過程で、色々な環境の変化があります。その時子どもは、緊張や不安など、自分ではどうすることもできない情動や感情におそわれるのです。そんな時こそ、子どもの気持ちをしっかり受け止め、ありのままのわが子の心に共感することが大切です。

「早く早く」とせかさないとすることも心の土台を作るに当たって大切なことです。「早く起きなさい」「早く学校へ行きなさい」「早く宿題をしなさい」このようなことは、親は子どもの為を思って言っているつもりですが、子どもには伝わりません。「やろうと思っていたのに」と不満に思われてしまうだけです。「あなたにはまだ早い」など、指示・命令の多い人の子は、やる気が阻害されます。そして指示・命令を続けていると子どもも指示・命令の子になります。やって駄目だったら「お母さんのせい」「お父さんが言ったから」と言う子になってしまいます。「ダメ」「無理」は言わない方が良いです。けれども、言わなければならないことも当然あります。だから言って良いのは2回までと決めて、言ったからには親が提示と確認までをするべきです。

良い自己肯定感を育ててあげるのは保護者です。「寝坊したことをどうすれば良いのかな。」と、失敗を失敗のままにしないで、「失敗しても大丈夫、こうすれば良いのだから。」と失敗は成功のもとであることを伝えましょう。失敗を繰り返して人は成長するのです。子どもは本来“する力”を持っています。上手くいかないことに果敢に挑戦する気持ち、内に秘めた力は絶対に誰もが持っています。その力を引き出しましょう、子どもを信じるのです。

また、弟や妹ができて、お兄ちゃん、お姉ちゃんになると今まで親を独り占めできたのに、それができなくなってその寂しい気持ちを赤ちゃん返りというかたちで子どもは表現することもあります。

そういう相談を受けた時に私(平林さん)は次のように答えました。「上の子に1日に少しでも良いから“大事だよ”“宝物だよ”と言ってしっかり抱きしめてあげてください」そのお母さんは、最初は「上の子の顔を見ると出来ないのです。」と言っていました。意を決してやり続けてみたそうです。心が満たされると子どもは本来のエネルギーを出して良い方向へ向かいます。そのお母さんが子を抱きしめることを続けて1か月、悩んでいたおねしょが治りました。幼稚園への登園渋りも相変わらずありましたが、少しずつ良くなって今では小学校へ元気に通っています。

いつも笑顔でいられるのは大人として成熟度が高いこととイコールです。形だけでも良いです。お父さんお母さんはお子さんの心の太陽になってあげてください。いつも笑顔で。プラスの言葉掛けをしましょう。親が愚痴や泣き言、誰かの批判をしてはいけません。子どもはよく見ているものです。

子どもは駄々をこねて親の愛情を確かめながら、少しずつ親から離れることができるのです。

ですから、思春期を迎えるまでの子供時代にしっかり「甘えさせてあげる」ことは、子どもが親離れをする上で必要です。何かあったら、甘えるところや帰るところがあってこそ、子どもに信頼感や自尊感情、自己肯定感など、心の土台ができるのです。

反対に親としてはいけないこと。それは「甘やかす」ことです。

あれもこれもと物質的要求に応えてしまう。見てもらえないから、私がした方が早いからといって、なんでも親がしてしまう。こうした過保護・過干渉は親の自己満足で、子どもの自立を阻む原因ともなります。

一時はその方が、子どもも親も楽かもしれませんが、本当に子のためを思うのなら、見守り、待つことを心掛けましょう。